

●度量衡勅令案

政府提出に係る度量衡法中改正法律案は既に貴族院を通過したるが改正法律案に於ては其實施期及度量衡の名稱、命位並に比較等重要なるものは之を勅令に譲り居れるが今勅令案の重要規定を聞くに左の如し。

一法、第三條第二項に依り地積(アール)、瓦斯體、粒狀物、紛狀物の容量(リットル)寶石重量(カラット)の計量等特殊の場合に用ふる度量衡の名稱、比較及略字を定むること。

二法、第五條の二に依り勅令を以て除外するは施行令に規定したる計量單位と異なる状態能率(例へば燭光熱量)を計量するときは本法に依らざる計量單位を用ふことを得ること。

三法、附則第二項の勅令を以て規定する事項は左の如し。

イ、尺貫、鯨尺斤ヤード、ポンド、法海里、船舶容積等の如き從來慣用の度量衡の名稱、命位及メートル法との比較。

ロ、尺貫、鯨尺及ヤード、ポンド法は各官廳公署技術に關する學校、鐵道事業、製鐵事業、電氣事業、瓦新事業又は五十馬力以上の動力を使用する業務は五箇年以後は其の使用を禁ずること。

ハ、前號の度量衡は輸出品又は移出品及造船業、紡績業、織物業等の場合には期限を定めずして當分之を使用せしむること。

ニ、從來の臺帳、圖面等の度量衡は更訂を爲す場合の外は從來の儘とすること。

ホ、前記以外一般に取引證明の場合に於ては一定の期限に於て漸次使用を禁止すること。

四法、附則第三項の勅令には從來檢定に合格したる度量衡器にしてメートル以外のものは一定の期間後其の販賣を禁止すること。

五法、勅令を以て當分の内使用を認めたる計量單位及計量器に於ては第三項及第四項に準じて規定を爲すこと。

●八幡製鐵所の近況

一時持直し相に見えた鐵價も數日を出です再び奔落して漸次安値を稱へる様になつて來た、此の原因は例の輸入物の滯貨三十萬噸の不捌と需要皆無の影響が與かつて力がある、昨今八幡製鐵所の狀況を聞くと依然不況ではあるが、二月は比較的好況を示し約二萬六千噸の賣行を示した是れは年度末に差迫つて來た關係上從來未取引のものを整理した結果で大部分は官省筋のものである民間の拂下品は依然少く右の内僅に五千噸内外に過ぎない、三月に這入つてから又復注文が途切れて來たが二十三短尺物三千噸とレールの拂下を行つたのみで官省筋の取引も振はない之れが爲め在庫品は益増加し遂に九萬噸

に達して來た、此の山の様なストックを眺めて居る計りである、柳澤販賣部長は前途に就いて語る。

今の見込では本月の民間拂下は約六七千噸位には達する豫定だが市場価格が無暗に下向加減である爲め昨今製鐵所に注文するのは市場にない品物のみである、されば鐵價の前途も全く豫側を許さず随つて現狀を維持して行く外はあるまい米國等も例のユウエス、スチール、コーポレーションの如き操業二割減、其他の會社は僅に四割方の操業を持続し中には續々破産して居るものがあると云ふ様な次第で依然鐵價復活に至らぬ狀況である、之れが爲め製鐵所でも貯藏品が如何程貯まつても第二回の拂下げ等は斷然行はない方針である、今議會を通過した關稅法改正も製鐵業者保護として出來たものであらうが銑鐵及〇・七耗以下の薄鋸は通商協約に依つて協定稅率が定まつて居り通商協約を改正しない限りは問題にならぬ殊に現今の如く外國品と内地品との價格の相違が甚だしい際には例ひ關稅法を改正しても無意味である雙方の價格が相接近して來て始めて効力があるから該法案も現在の鐵價には何等の影響もあるまい云々。

●東洋製鐵管理 戰時中多大の希望を以て創立せられたる東洋製鐵會社が事業漸く其緒に就きたる今日偶財界の不況に逢着し鐵價の暴落甚だしく經營困難に陥れるは當然の事にして幸ひ前期即ち昨年十一月迄は定款に基き年五分の利息配當を爲し來りしも今期よりは愈々事業上の利益を

擧ぐるに非ざれば株主配當を爲し得ざる状態に在り而して昨今の銑鐵相場は噸六七十圓なるに對し會社の生産費は遙に夫れ以上に達し之を賣却せんか當然損失を免れず然るに會社事業の現狀は單に銑鐵生産の設備に止まり之を鋼化せんとするには更に巨額の資金を投ぜざるべからずして總資本四千萬圓中既に三千四百萬圓の拂込を了せる現在に於ては到底未拂込資本の充當に依りて之を完成すべき見込なく又借入資金を得んことも現下の財界事情に於て至難なること亦明瞭なり。加之製鐵界の前途を考ふるに現在の内地銑鐵堆貨は約四十萬噸にして此は我が國に於ける約一ヶ年分の需要に相當し到底近き將來に於て新規需要を喚起すべしとは思はれず同社が現在三百噸爐の方は不用の儘にて之を放置し僅に百五十噸爐一基を繰業し居るは之が爲めなり、更に海外の事情を一瞥するに支那秦皇島に於ては開平炭を利用する製鐵事業の發展を見んとし印度鐵業亦漸次擡頭せんとする形勢ありて内地製鐵業が此等の壓迫を受けんことは略之を想像するに難からず斯く觀じ來れば東洋製鐵が現狀の儘に推移せんことは當に利益を擧げ得ざるのみならず益々苦境に陥らんことは何人も想像し得る所なり。一方製鐵所側の立場を考ふるに現在敷地は既に狹隘にして殘滓の投棄場にすら不便を感じ居る状態なるに反し東洋製鐵の敷地は頗る廣濶にして一方海に面するを以て之を利用せんか製鐵所側の不便は全然一掃し得るなり、又彼我の工場相近

接せる爲め會社の熔爐を其儘製鋼爐に利用し得るの便益あり、是れ兩者の間に今回委任經營契約の成立したる所以なり。而して委任の内容に關しては未だ何等文書に依る假契約等の作成なく單に政府及び會社當事者間の口頭諒解に止まるも要するに期間を一ケ年とし或る時日（或は四月末日乎）を期して會社の工場計算全部を製鐵所に移管し此結果として契約期間中は會社及株主は其事業の損失に關しては全然沒交渉の立場に置かれ唯僅に現在所有する手持品の處分利益及預金利息等の収益により會社維持費を支辨するものにして製鐵所は受任と同時に必要に應じ自己の計算に於て設備の擴張整備を計るものなり、尙會社は將來再び自己經營に轉ずる場合は其擴張設備に對し相當價格の賠償に依りて讓渡を受け得るものと解せられ居れり、換言すれば會社は不況時に於て損失負擔の危険を避くると同時に政府投資によりて設備を完成し將來好況時を待つて之を自己經營に移さんとするものなり、従つて一ケ年の契約期間も其時の狀況に依り繼續延長し得るは勿論なり尙該問題に關し會社は四月八日一千株以上の大株主會を開き更に十二日株主總會の承認を経て直に契約の締結を爲す筈なり。

●製鐵所買炭高 八幡製鐵所に於ける十年度石炭購入高は九年度と大差なく約百二十萬噸であるが炭價の先安を見込んで購入契約を延期してゐる、九年度購入總高は百二十萬噸で開平炭七萬噸、溜川炭三萬噸、鹿町炭四萬噸其他

は二瀬、三井、三菱、安川、古川等の筑豊炭百四萬噸を一日三百臺の貨車で三千五百噸を輸送して來てゐるが、九年度納入未済の炭は約二十萬噸にして此外に貯炭も多少あるので一層購入契約を延期してゐる、又同所に於ける鐵鑛購入總高は九年度に在りては大冶三十五萬噸、朝鮮地方二十四萬噸、金嶺鎮十五萬噸等約八十萬噸にして十年度購入高も九年度と大差なく約八十萬噸にして目下契約済のものは大冶三十萬噸、朝鮮十萬噸、南洋五萬噸である。

●製鐵所給料年齢統計 八幡製鐵所職工の年齢給料等の統計によれば職工一萬七千餘名中最年少は十五歳最年長は六十二歳で中六十二歳二人、十五歳二十七人、二十八歳六百八十人、十九歳八萬二十一人、二十歳八百八十名等で給料は最低日給六十錢最高日給三圓九十六錢で最低給者は、十五歳の者九人、最高給者は、六十二歳の者一人、適齡前後の者二千五十四名は一圓五十錢、二十八歳前後の者千三百名は一圓八十錢である。

●製鐵研究所竣成 東北大學附屬鐵鋼所の新築工事工程は其後一層竣成を急ぎたる結果この程極些細の裝飾を除くの外は全部落成を告げたり、その爲め從來理學部物理教室の一部にて研究に従ひつゝありし本多光太郎博士以下所屬職員全部は移轉を了したり、同研究所は既報住友氏の篤志寄附金三十萬圓の中約十五萬圓を新築工費となし他は研究所要の諸器械設備に要したるが文部省よりは一箇年約

四萬圓の經常費支出の筈なり併し所屬職員の俸給全額は優に三萬圓に達する譯なれば研究費としての殘餘は極めて少額となる譯にして同所が私設會社等に附屬する外國の例を破つて純なる研究所たる獨歩の地位を満足するに經濟上充分ならず此際考慮を要すべしとされつゝあるも切詰めある大學の豫算として之を増額するは至難の状態にありて結局關係實業界方面の寄附に俟たざるべからざる事情あれども現下の一般經濟狀態は之れが實現容易に非ざるは勿論なれば所長本多博士も頗る困惑の色あり然れども所員の研究は愈々熾烈にして昨今非常の緊張にて努力しつゝあり。

●鐵の輸出入額 鐵界の悲境は豫想外の事實にして昨春經濟界の大急變以來漸次不振の色彩を濃厚にし爲に製鐵業者の救濟問題を再三惹起した程であつたが然らば向後は什ふであるかと云ふと前途暗澹として豫測するに苦しむ有様である、斯くの如き状態であるから之を輸出入に就て見ると昨大正九年中は輸入品俄然増加して斯界の一大問題となつたのである、即ち塊及び錠の輸出から看ると千五十萬三千四百四十四斤、價額百八萬五千六百六十六圓（前年即ち大正八半の輸出は二十三萬三千三百四十九百八十七斤、價額二百六十六萬千三百二十四圓）條、竿及び板は四千三百二十九萬二千七百九十八斤、價額七百八十八萬六千八百二十五圓（前年四千四百四萬四千四百四十六斤、價額八百八十四萬七千九百十九圓）線索は百六十萬三千八百十九斤、價額

七十一萬二千三百八圓（前年二百三十九萬七千三百三十斤價額百四十三萬五千七百圓）筒及び管は八百四萬七千二百四十九斤、價額百九十一萬五千二百六十九圓（前年千二百五十一萬六千四百七十斤、價額三百萬八千三百一十一圓）其他千七百十萬八千五百九十九斤、價額百八十五萬八千四百十六圓（前年三千三百四十萬六千三百四十五斤、價額千九百六十四萬七千六百七十七圓）にして之れに對する輸入は如何と云ふに鐵鑛に於ては千百三萬九千四百六十六斤、價額千四百八十八萬六千五百二十八圓（前年千三十五萬四千四百二十六斤價額千六百十三萬八千五百二十三圓）銑鐵に於ては五萬八千八百八萬六千六百六十八斤、價額四千五百五十五萬九千三百十三圓（前年四萬七千七百九十四萬三千九百四十四斤、價額五千二百十四萬五千三百三十四圓）であつた即ち輸入の數量が非常に増加した事は之に依つても明かとなるであらう。

●廟兒溝鐵鑛採掘表

自大正九年一月 至同 九年十一月

月別	種類	富鐵塊	富鐵粉	合計
一月		七、五二四・六〇	九八五・三〇	八、五〇九・九〇
二月		五、三〇二・〇〇	八三四・一〇	六、一三六・一〇
三月		七、五五八・八〇	一、一一三・六〇	八、六七二・四〇
四月		六、七六二・八五	九〇三・七五	七、六六六・六〇
五月		六、七九三・九五	九四一・二〇	七、七三五・一五
六月		五、九二三・八〇	九四〇・〇五	六、八六三・八五
七月		五、八二八・六〇	七八一・三五	六、六〇九・九五
八月		六、一二一・八〇	八六〇・三五	六、九八二・一五
九月		六、四九〇・九〇	八二〇・〇五	七、三一〇・九五

十月	八、〇五三・六五	一、一七・七〇	九、一七一・三五
十一月	六、三三二・三〇	九六九・九五	七、三二二・二五
十二月	五、六七一・六六	一、七八二・二四	七、四五三・九〇

●鞍山製鐵所銑鐵製產表 自大正九年七月（單位噸）至同九年十二月

種類	特一號	一號銑	二號銑	三號銑	多硅素	低硅素	合計
七月	九八三・九〇	三五・八〇	—	—	八三二・〇〇	—	二〇六一・〇〇

●本溪湖煤鐵公司銑鐵製產表

自大正九年四月至同九年十二月（單位噸）

月別	種類	特一號	一號銑	二號銑	三號銑	四號銑	白銑	低燐銑	製鋼銑	荒銑	合計
七月	特一號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	特一號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	特一號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十月	特一號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一月	特一號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二月	特一號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 七月二十一日初めて銑鐵の種類を分類し其以前は全部同種のものとして貯銑せり。

●支那の石炭鑛業 諸種の報告及統計に徴するに支

那一箇年の産炭量約一千六百萬噸の内過半は新式採炭方法により残り三四割は支那式又は折衷式採掘法に依り採炭し居れり、而して山西省東南地方は世界に於ける最著名の含炭地帯にして其幅に於ては廣狹多少の相違あるも約二百哩に連綿たる厚き炭層を包藏して支那埋藏炭量の約九割は此地帯に在りて將來世界の大炭鑛業地たるべく最も注目せらるる所なり、英國は夙に山西省に着眼し北京シンジケート

は山西省炭坑の採掘權を得たるも其後利權回收運動により撤回されしが一九〇八年の契約に基き將來採炭業及鐵道の敷設に付き外國資本を必要とする場合には先づ以て北京シンジケートに諮るべき契約を結びしが最近に至り再び鑛業權の獲得に成功し開灤鑛務局と山西鑛務管理局との提携の下に大同鑛務局を組織し大同炭田採掘の契約を締結し北京シンジケートは山西鑛務管理局と提携して英貨一百万磅の資金を以て晋福煤油公司を組織すると共に別に晋福煤鑛公

司を組織して山西南部炭田採掘の計畫を進め居れり、現在支那炭鑛經營中外國人の經營によるもの中外合辦事業のもの

の支那人經營のものに就き今主要炭坑の現況を見るに左の如し。

名	稱	炭質	採炭法	一ヶ年採炭量	摘要
北京シンジゲート	經營河南焦作炭坑	無坑	洋式	八〇〇、〇〇〇	英白資本
山東鐵道	經營山東省淄川炭坑	有烟、無烟	洋式	七〇〇、〇〇〇	日本資本
滿鐵	經營撫順炭坑	有烟	洋式	三、三〇〇、〇〇〇	日本資本
滿鐵	經營煙臺炭坑	無烟	洋式	二〇〇、〇〇〇	白耳義資本
直隸省	臨城炭坑	有烟	洋式	四、五〇〇、〇〇〇	英支合辦
開灤礦務局	經營開灤炭坑	有烟	折衷式	八〇、〇〇〇	英支合辦
通興公司	經營直隸門頭溝炭坑	半有烟	洋式	四五〇、〇〇〇	日支合辦
本溪湖煤鐵公司	經營滿洲本溪湖炭坑	半有烟	支那式	八〇、〇〇〇	日支合辦
滿洲牛心臺	炭坑	無烟	折衷式	八〇、〇〇〇	日支合辦
東蒙古新邱	炭坑	有烟			
三、支那人經營炭坑					
山東中興煤礦公司	嶧縣炭坑	有烟	洋式、折衷式	六〇〇、〇〇〇	新に一部米國資本投資舊獨支合辦
直隸省	井陘炭坑	有烟	洋式	三〇〇、〇〇〇	
山西省	保晉公司講炭坑	有烟、無烟	支那式、折衷式	八〇〇、〇〇〇	
同公司	嶧縣附近諸炭坑	無烟	支那式、折衷式	一一〇、〇〇〇	
同公司	大同附近諸炭坑	有烟	洋式	一二〇、〇〇〇	
湖南省	漢冶萍公司巷鄉炭坑	半無烟	支那式	九〇〇、〇〇〇	
山東省	博山炭坑	有烟、無烟	洋式	二五〇、〇〇〇	
河南省	六河溝煤礦公司經營炭坑	有烟	支那式、折衷式	二〇〇、〇〇〇	
直隸省	錦州附近炭坑	半無烟、有烟	支那式	四〇、〇〇〇	
山東省	新泰炭坑	有烟	支那式	三〇、〇〇〇	
開益公司	山東省沂州府炭坑	有烟	支那式	二〇、〇〇〇	
賈家灣煤礦公司	江蘇省賈家灣炭坑	有烟	折衷式	三六、〇〇〇	
炭山灣煤礦公司	湖北省炭山灣炭坑	半無烟	折衷式	七〇、〇〇〇	
合計				一三、六七六、〇〇〇	

以上の外國三百萬噸は小資本の支那式採炭方法により各所

より採炭せられつつあり、支那一箇年の需要炭量は前述の

如く自國一箇年の採炭量と略同様にして約一千六百萬噸なるが右產出量は支那全國の埋藏炭量推定最小額を六千億噸として僅に其四萬分の一に當り將來諸工業の發達に依り石炭需要の激増を見又外國輸出増加によりて採炭量が近き將來に五倍に激増する事あるを假定するも尙二千四百年の需要を満し得べし。此大富源の開發は謂ふ迄も無く一に交通機關の發達は海陸連絡の整備に俟たざるべからず、而して此交通機關を管理するもの即ち支那の富源開發上最も至便の機會を捕捉し得るや勿論なりとす。(支那鑛業時報)

●秦皇島製鐵廠創立 農商務省鑛山局技師松尾爲文

氏は過般朝鮮經由支那各地に於ける鐵鑛山並に製鐵業の現狀を視察し歸朝したるが『目下支那の到る處に行つて問題となつて居る事は開灤炭鑛の大擴張である、殊に秦皇島に建設すべき東洋第一の大製鐵所は話題の中心點となつて居るとして語る』英支合辦事業たる開灤炭鑛即ち開灤鑛務總局の本店は英京倫敦に在るが、其社長はメーヅォル、ネーサン氏と云つて陸軍歩兵中佐(休職)である、然して其經營に係る開灤炭鑛が昨年十二月倫敦で開かれた總會の決議に基いて既に各種の事業擴張を行ひつつあるが、現在同地に於て話題の中心點となつて居る問題は同炭鑛より產出する石炭を以て、秦皇島に東洋第一の大製鐵所を建設すると云ふ事である。此大計畫は最早具體化して來て居るのであつて同炭鑛に於ては之が爲め新たに二炭坑を採掘して生産増加

を圖る事を企畫し既に着手しつゝあるが其の大製鐵所設置に就て聞く所に依れば資本金は千五百萬弗であつて製鐵所敷地は總面積二十平方哩にして未だ何等工事を開始せざるも此程認可の指令ありたれば近々着手するは豫定の事實である。元來此計畫が成り立つたのは昨年九月頃であるが其根本の因と爲す可き事由は開灤炭坑は年々四千五百萬噸餘の石炭を採掘し居れりと雖も此内三千五百萬噸は粉炭なるを以て之が利用の方途を講究したる結果遂に製鐵所建設の議を産むに至つた次第である、即ち產出する石炭の大部分が同地に於ては有煙炭と云ひ居れども半無煙炭であり且粉炭が大部分を占め居る所より之が處置を講ずる策として愈東洋第一の製鐵所が運搬に至便なる秦皇島に實現する事となつた譯である。

開灤炭鑛の大擴張は延いて東洋第一の大製鐵所を建設するに至つたが然らば鐵鑛は何處から持つて來るかと云ふと楊子江沿岸より船便にて運輸するのである供給する鐵山は寶興鐵公司である、此寶興鐵公司と云ふのは章邱如氏の經營に係り資本金二千萬元の會社であるが所有する鐵山は拷老山、平山、凹山、大凹山、銅羅山、鐘山等であつて鑛量千萬噸以上と云はれ居る此外龍燈公司からも買鑛して製鍊し尙ほ三井經營に係る小孤山(鐵鑛量約三百萬噸)からも供給するとの噂があるが眞偽の程は判らない、斯のやうにして漸次所定の計畫を進行するであらうが最初着手する量

は一日二百噸であると云ふ、之を要するに計畫が豫定通りに進んで行つて製鐵所が完成した曉は現在同炭坑所在地より秦皇島に達する運搬鐵道を十八箇所以内に複線とし尙ほ秦皇島に於ける埠頭設備を現在より三倍に擴大すると共に新たに白河口の塘沽に大規模の荷揚場を設くる事の外に製鐵所には二百五十噸の熔鑛爐を据付くるのである、其埠頭の擴大工事は恰度棧橋に十五艘ほど船舶を着け得るやうにすると云つて居る、因に製鐵所を建設すべき現在の敷地は海岸であつて背後は鐵道が貫通して居るから運搬の利便は申し分のない所であるが、砂地であつて二米突も掘返すと水が噴き出すやうな所であるから基礎工事が容易でないだらう、また將來は造船所や造兵廠等も此近傍に設けられると云ふ』云々。支那政府も支那工業の發展を助成する目的にて右各事業に對して釐金其他課税を免除する筈である、また現在の開鑿炭坑の日本内地への供給額は一年約七十萬噸であるが右の設備完成後には少くとも年百萬噸を送り得る見込みであると。

●英國製鐵閉鎖 最近の入電に據れば英國炭坑夫總同盟罷業の結果同國有數の製鐵會社たるドルマン、ロング會社及同系の各製鐵工場は燃料炭の不足より止むなく骸炭製造所及熔鑛爐工場を閉鎖し全然休業状態に陥れり、爾餘の製鐵工業も續いて之に倣はんとする形勢にありと。尙ほ熔鑛爐の火止めをなしたりと傳へらるゝドルマン、ロング製

鐵會社はチャンネル、チース、アングル等の型物製造を主とし年産額百五十萬噸見當の生産能力を有する由なるが同社製品は品質優良なる丈けに米國製品に比し高價也従つて之が輸入高極めて尠く内地市場に於ける影響としては輕微なるべしと雖も若し以上の如き形勢の他製鐵事業に及ぶ事ありとせば鐵供給の上に相當の影響を生ずべきは當然也、但し今の場合電文短簡なる爲め其程度の如何を知るに由なく同時に其影響を推すの早計なるには非ざる可き乎と云ふ

●米國製鋼信用取引擴張 米國製鋼會社取締役會長エルバート、エッチ、ゲリー氏は最近陳述書を發して同會社が信用取引の範圍を一時に二億弗迄擴張せんとする旨を述べて曰く「外國の購買者にして即時支拂をなし得ぬ者の爲めに信用貸を許さん事を獎勵す、斯る手段は外國の商業復舊の一助たると同時に此信用取引法に依り米國商人が外國よりの購入に對して現金支拂をなす狀況を具體的に緩和すべし、米國製鋼會社は既に加奈陀、墨西哥、日本、支那、南米諸國及び南阿弗利加との取引に主として此の原則を實行しつゝあり、昨年中右諸國に賣り渡せる鋼鐵の噸數は莫大なものにして事情の許す限り信用取引の範圍を擴張せり。獨佛製鋼業者の競争は兩國の産業復舊完成して各自給の域に達する迄は有り得べからざる事にて恐るゝに足らず唯歐洲労働者は米國に比し賃金が低ければ外國の製鋼業者は此の一事のみを以て米國の市場で競争するを得べく若し歐洲諸國が今後も低き賃金標準を執るとすれば米國の産業を保護し公正な競争を保證する爲め關稅徵集を必要とすべし」と。